

資料4-1

小高診療所の整備について

1 診療所整備基本方針

小高診療所については、現在、旧小高病院の解体工事に伴い、一時的に小高保健福祉センター内に設置しているが、今後、将来の有床診療所としての活用可能性も踏まえた恒久的な診療施設として、新たに小高区内に整備する。

2 診療所施設建築概要

- (1) 構造 木造平屋建
 (2) 概算建築面積 400 m²
 (3) 概算延床面積

室名	数	説明	面積m ²
診察室	2	2診体制を想定。常勤医のほか非常勤（応援）医師を配置。	12×2室
処置室	1	4台のベッドを配置、点滴室を兼ねる。	41
受付・待合室	1	患者数を1日60人と想定（現在17人、病床再編計画に基づく患者数）。	42
特別待合室	1	感染症の疑いのある患者を隔離する。	6
レントゲン室	1	レントゲン機器を設置	32.5
調剤室	1	有床診療所を想定して設置。	12
トイレ	3	男女別のほか、身障者用を設置。身障者用は採尿室を兼ねる。	6×3室
医局	1	医師の待機所。	19
事務室	1	事務執務スペース。	25
会議室	1	応接室を兼ねる。	42
更衣室	2	スタッフ用として男女別。	10×2室
倉庫	2	書類等の収納用及び備品等の収納用。	10×2室
廊下等			76.2
合 計			377.7 ≒400

⇒ (変更)

「診察室」多様な診療体制にも対応できる体制を構築するため、「2診察体制」から「3診体制」へ変更。

※2/27 現時点の診療所の配置計画（案） 資料4-2のとおり

3 整備場所

- ・所在地 南相馬市小高区東町三丁目8番地（旧小高病院跡地）
- ・現況地目 宅地
- ・地積 5,645.09㎡（概算建築面積400㎡）
（うち市有地2,981.45㎡、一部道路敷を含む）
- ・地籍集成図 資料4-3のとおり

4 医療機能

- ・内科・外科
- ・一般撮影（立位式・臥位式）

5 医療機器

- ・レントゲン機器（CR・PACS含む・新規設置）
- ・自動CRP測定装置（新規設置）
- ・自動血球計測装置（新規設置）
- ・超音波画像診断装置（既存）
- ・心電計（既存）
- ・血圧脈波検査装置（既存）
- ・自動体外式除細動器（既存）
- ・酸素吸入器（既存）
- ・調剤用冷蔵庫（既存）
- ・オートクレーブ（既存）

6 診療体制

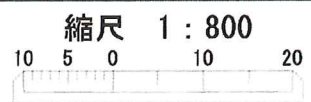
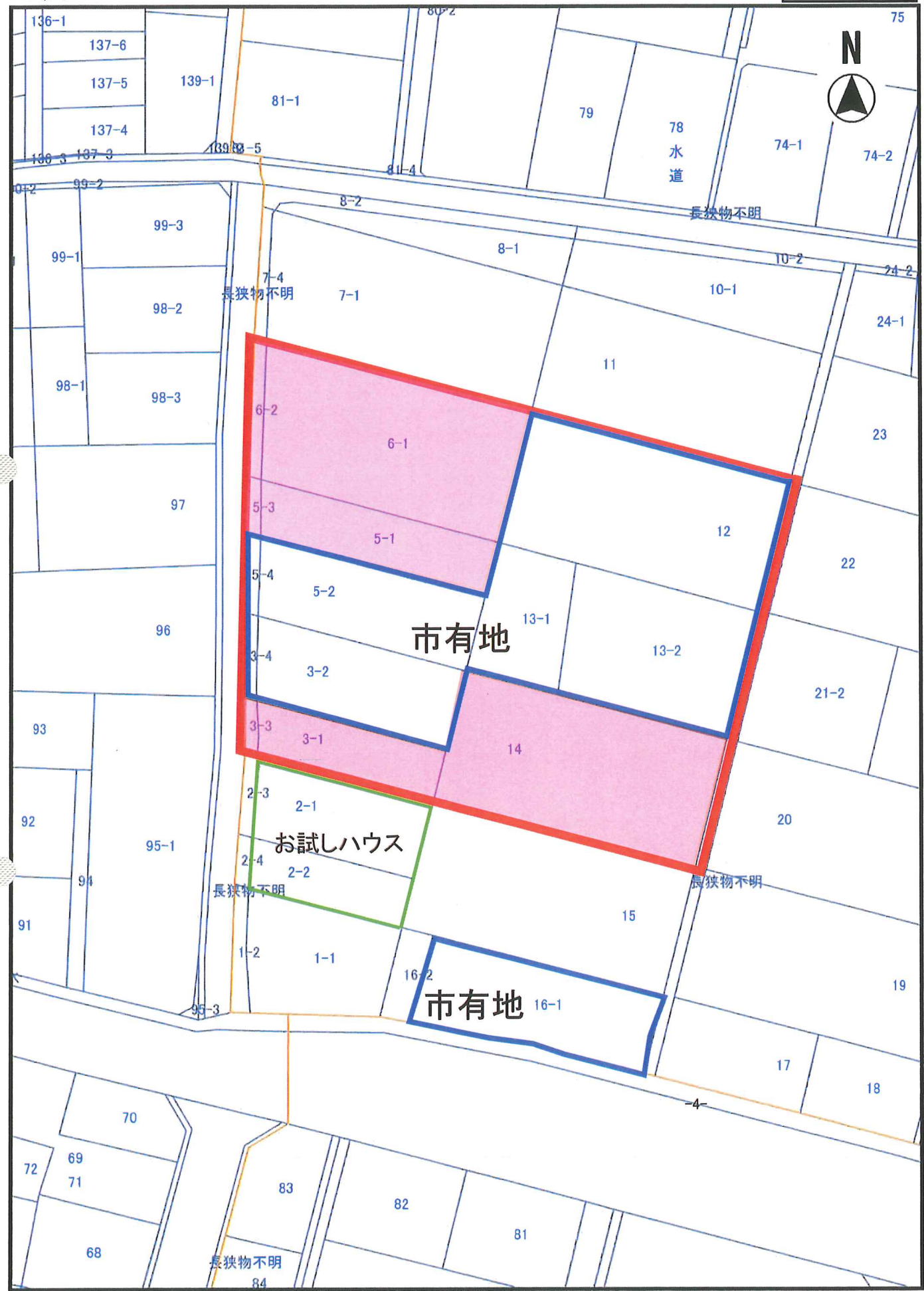
当面は常勤医師1人、看護師3人

7 整備工程

年 度	内 容
令和元年度	基本設計、地質調査、不動産鑑定
令和2年度	実施設計、用地取得、建設工事
令和3年度	建設工事、開所



配置図 S = 1 / 6 0 0



旧小高病院跡地

5,645.09m²
(市道敷地含む)